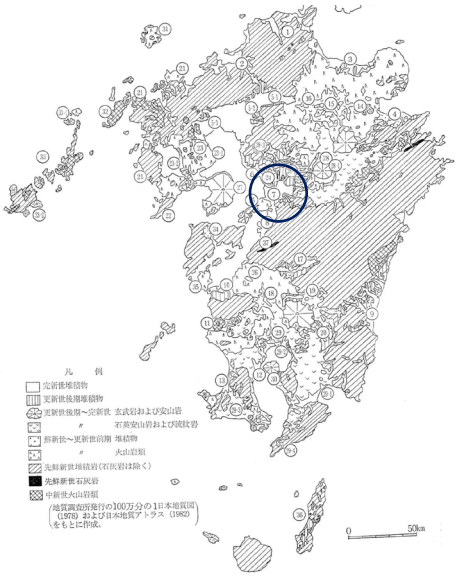
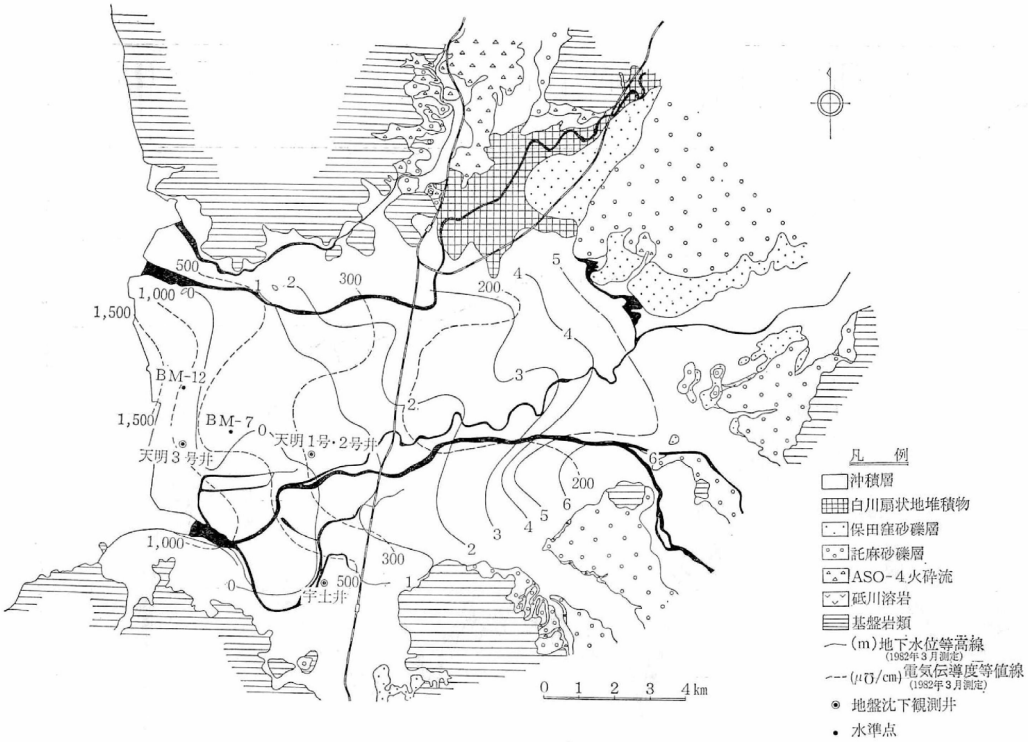
7.熊本平野



地形・地質

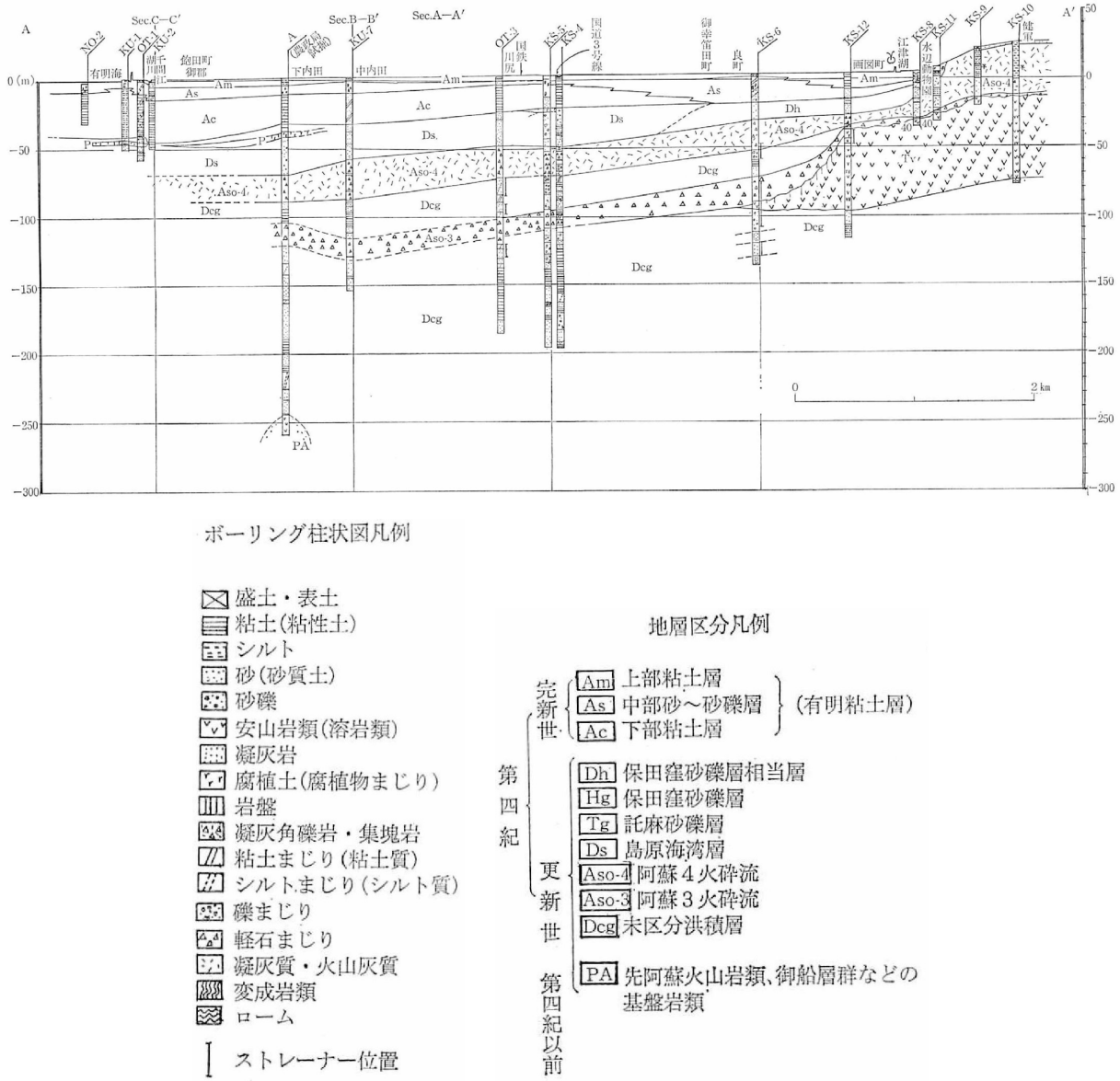
熊本平野は有明海に面した沖積低地で，白川や緑川の大河川が流入します。白川沿いには部分的に扇状地が発達し，その他の範囲は低平地です。地質は有明粘土層の発達が良好で，上部粘土層(Am)，中部砂礫層(As)，下部粘土層(Ac)に区分されます。



地下水位等高線図および電気伝導度等値線図

地下水

主に有明粘土層の中部砂礫層，未区分洪積層の上部層や下部層から取水されています。特に上部層と下部層は主要な帯水層となっており，下部層中の被圧地下水は自噴します。島原海湾層は塩水化の可能性があるため，ほとんど取水されていません。



熊本平野の地質断面図（緑川沿い）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）